

2016年度 中村 恵理 客員准教授 声楽 特別講義

1. 日 時 : 2016年6月6日(月)15時15分~18時30分
2. 場 所 : C号館 401教室
3. 対象学生【必修】 : 大学院声楽研究室 学内のみ他聴講可
4. 講師紹介 : 中村 恵理 客員准教授

大阪音楽大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第5期生修了。

明治安田クオリティオブライフ文化財団の助成を受け、オランダに留学。

国内外での研修中、新国立劇場にて「フィガロの結婚」、「イドメネオ」、「フィデリオ」、「ファルスタッフ」等に出演。

2008年より英国ロイヤルオペラハウス(JPYAP)に在籍し、同劇場「カプレーティ家とモンテッキ家」(アンナ・ネトレプコの代役)、「ラ・ボエーム」、「フィガロの結婚」、「ウェルテル」(ドイツ・グラモフォンよりCDリリース)、「トゥーランドット」(Opus ArteよりDVDリリース)等に出演、いずれも好評を得る。

2009年BBC主催カーディフ国際声楽コンクールにてオーケストラ、歌曲両部門においてファイナルに進出。翌年、英インディペンデント紙「Talent2010」音楽家部門に選出された。

2010年、バイエルン国立歌劇場のソリストとして専属契約。「フィガロの結婚」スザンナ役でデビュー後、「魔笛」、「ドン・ジョヴァンニ」、「カプレーティ家とモンテッキ家」、「愛の妙薬」、「ヘンゼルとグレーテル」、「ボリス・ゴドゥノフ」(BelAirよりDVDリリース)、「ホフマン物語」等に主要キャストとして出演している。その他、ベルリン・ドイツオペラ、オヴィエド歌劇場、トゥールーズ歌劇場にて「トゥーランドット」、サンティアゴ国立歌劇場「ロメオとジュリエット」、クラーゲンフルト市立歌劇場「カプレーティ家とモンテッキ家」に客演他、ロンドンフィル、フランス放送交響楽団、バイエルン放送響、チェコフィル、エストニア国立響、香港フィル、東京フィル、東京交響楽団、日本センチュリー響との共演、ヴェチカンでのローマ法王への御前演奏、マドリッド国立音楽堂での室内楽ソリスト等、コンサートでも活躍している。

国内では2012、15年に東京・紀尾井ホールにてリサイタルを開催、その成果に対し2012年度のアリオン賞本賞を受賞。また、2013年のN響第九のソリスト、2014年NHKニューイヤーオペラコンサートに出演、オーケストラアンサンブル金沢のツアーに参加するなど、更に活躍の場を広げている。

最近ではロイヤルオペラ及びザルツブルグ州立歌劇場新演出「リゴレット」ジルダ役、ワシントン・ナショナルオペラ「魔笛」パミーナ役等でいずれも高い評価を得た。

今後は、バイエルン国立歌劇場、サンティアゴ国立歌劇場、台中メトロポリタンオペラハウスこけら落とし公演、新国立劇場等に出演を予定している。

2015年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。大阪音楽大学客員准教授。

5. 講義概要 :

岡本 優香(院2)

G.Donizetti 作曲 「Don Pasquale」より "Quel quardo il cavaliere"

紙谷 一帆(院2)

G.Verdi 作曲 「Rigoletto」より "Caro nome che il mio cor"

森 千夏(院2)

V.Bellini 作曲 「I Capuleti e I Montecchi」より

"Oh! Quante volte, oh! quante"